

審議会会議録

1 会議の名称	令和3年度第2回富津市子ども・子育て会議
2 開催日時	令和3年7月21日（水） 午後1時30分～午後3時13分
3 開催場所	富津市消防防災センター1階 会議室1・2
4 審議等事項	議題 （1） 公立保育所の再配置について （2） その他
5 出席者名	○出席委員 真下 めぐみ、村治 直子、安藤 鮎香、黒木 淳一、 岩濱 真也、宮原 俊一、有馬 佐知子、飯田 裕美、 今井 常夫、都倉 康宏、古川 哲也、諸岡 賛陸、 保坂 典江 ○事務局 坂本健康福祉部長、中山子育て支援課長、水島子育て支援係長、白石主任主事、荒木主任主事、山口健康づくり課総括保健師、川島学校教育課指導主事
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	1人（定員5人）
9 所管課	健康福祉部子育て支援課子育て支援係 電話 0439-80-1256
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

会議録署名委員

会議録署名委員

令和3年度第2回富津市子ども・子育て会議 会議録

発言者	発言内容
<p>事務局 (荒木主任主事)</p>	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日、会議の進行を務めさせていただきます、子育て支援課子育て支援係の荒木と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、会議を始める前に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>○会議資料 (事前送付)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 公立保育所再配置計画たたき台に対する意見とりまとめ ・公立保育所再配置計画たたき台に対する意見書用紙 ・討議グループ分け表 <p>(当日机上配付)</p> <p>次第、委員名簿、席次表、参考資料、公立保育所再配置計画たたき台に対する意見書用紙(追加配付)、公立保育所再配置計画たたき台に対するグループ討議内容(富津地区大佐和地区)</p> <p>(その他)</p> <p>富津市公立保育所再配置計画たたき台 (令和2年度第3回会議 資料1) 第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画(冊子)</p> <p>○会議の成立</p> <p>ここで、本日の委員の出席状況をご報告いたします。</p> <p>15名の委員のうち、委員名簿4番の菊地委員、10番の平野委員の2名におかれましては、本日欠席でございます。</p>

発言者	発言内容
事務局 (荒木主任主事)	<p>13名の方が出席され、過半数を超えておりますので、富津市子ども・子育て会議設置条例第6条第2項の規定により、会議は成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>○会議の公開</p> <p>この会議は、富津市情報公開条例第23条の規定により、会議を公開することとなっております。なお、本日の傍聴人は1名でございます。</p> <p>会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、ご了承くださいますようお願いいたします。</p> <p><次第1 開会></p> <p>ただいまから、令和3年度第2回富津市子ども・子育て会議を開会いたします。</p> <p>議事に入る前に、諸岡会長からご挨拶を頂戴したいと存じます。諸岡会長、よろしくお願いいたします。</p>
諸岡会長	<p><次第2 会長挨拶></p> <p>皆さんこんにちは。平日のお忙しい中、出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>本日の議題にあります、今回は天羽地区の公立保育所の再配置について討議をお願いします。地域的に今までと違った特色のある地域だと思っておりますので、大変ですがとりまとめの方をよろしくお願いいたしますと思っております。</p>
事務局 (荒木主任主事)	<p>ありがとうございました。会長には引き続き、議事の進行をお願いいたします。</p>

発言者	発言内容
諸岡会長	<p><次第3 会議録署名人の指名></p> <p>それでは、次第に沿いまして、議事を進めさせていただきます。</p> <p>まず、本日の会議録署名委員を指名したいと思います。私のほかに、慣例により委員の中からお一人をお願いしております。本日は、飯田委員をお願いしたいと存じますので、よろしく願いいたします。</p>
諸岡会長	<p><次第4 議題></p> <p>それでは、次第4の議題に入ります。</p> <p>議題（1）「公立保育所の再配置について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p> <p>（資料1「公立保育所再配置計画たたき台に対する意見とりまとめ」及び「参考資料」を使用）</p>
事務局：中山課長	<p>議題1について、ご説明を申し上げます。</p> <p>前回の会議で、大佐和地区の案に皆様からいただいた意見をとりまとめましたので、資料1に沿ってご説明いたします。</p> <p>表の作りとしては、前回の富津地区案に対する意見のとりまとめと同様に、左から通し番号、たたき台の掲載ページ、どの項目に対するご意見か、いただいた意見、一番右がその意見に対する現時点での市の考え方を記載しています。</p> <p>今回いただいた意見では、小規模保育所と送迎ステーションの内容について知りたいといったものが多く寄せられましたので、これについてご説明いたします。</p> <p>本日お手元には参考資料として、地域型保育事業の概要（内閣府作成のパンフレットから抜粋したもの）、市原市立里見小規模保育事業所のホームページ、君津市の民間スキップ小</p>

発言者	発言内容
	<p>規模保育園のホームページ、岩倉市保育園送迎ステーション利用のしおりを綴じたものをお配りしましたので、そちらに沿ってご説明いたします。</p> <p>まず、1 ページ地域型保育事業の概要をご覧ください。</p> <p>地域型保育事業は、これまでの県が認可する保育施設とは別に、市の認可によって子どもを受け入れることができる保育施設として平成 27 年度から始まった事業です。児童福祉法に位置付けられており、その規模や保育の実施場所等の違いにより、左側に記載のとおり 4 つの類型に分類されます。小規模保育事業はこのうちの 1 つであり、認可保育所の定員が原則 20 人以上に比べ少なく、0 歳から 2 歳に限定し、6 人から 19 人までの間で定員を定めることができます。</p> <p>配置する職員数や資格の有無によって、さらに A 型・B 型・C 型の 3 つの類型があります。</p> <p>2 ページの「地域型保育事業の認可基準」の表をご覧ください。</p> <p>市が行おうとしているのは A 型であり、職員数は保育所の配置基準に 1 名の追加配置、配置職員は保育士資格を有することが求められています。表の下に〈参考〉として、保育所の基準が記載されています。保育所では、0 歳児 3 人に 1 人、1・2 歳児 6 人に 1 人の保育士を配置することが基準となっていますが、この小規模保育事業は質の確保を図るため、さらに 1 人の追加配置が求められています。保育室等の面積要件及び給食についても保育所と同様の基準が求められており、認可保育所に比べ規模は小さい保育施設ですが、保育の質を確保するために必要な基準は認可保育所と同水準、それ以上のものを備えており、子どもたちが安全に過ごすことができる施設ということをご理解いただければと思います。</p> <p>なお、保育料は従来の認可保育所と同じ基準を用いて算出</p>

発言者	発言内容
	<p>します。無償化の対象にもなります。</p> <p>全国で 5000 近くの小規模保育事業所が設置されており、規模を活かしたきめ細やかな保育を実施しています。</p> <p>保育の内容は、子どもの興味や欲求に従って遊びを中心に生活しています。3 ページ「市原市立里見小規模保育事業所」と 4 ページ君津市の民間「スキップ小規模保育園」のホームページを印刷したものを後ほどご覧いただき、参考にさせていただければと思います。</p> <p>この小規模保育所は先ほど申し上げたとおり、0 歳から 2 歳のお子さんを対象とする保育所ですので、3 歳以降を保育する施設と連携することが求められています。今後の検討にはなりますが、大佐和地区の保育施設（大貫保育園・和光保育園）を連携施設とする考えです。</p> <p>次に、送迎ステーションについてご説明いたします。第 1 回の会議でご説明したとおり、子どもの健全な発達には、集団の中で生活し、年齢に応じた社会性を身につけることが欠かせないと考えております。このことから、3 歳以上児のお子さんには集まっていたいただき、保育を実施いたします。よく目にする幼稚園バスのように道路上での引渡しではなく、保護者の方には、朝はステーションに送り、夕方もステーションに迎えに来ていただきます。ステーションから在籍している保育園を自動車で結び、日中はそれぞれの保育園にて保育を実施します。ステーションには保育士を配置し、受入れから園への移動までの間、そして夕方保護者のお迎えまでの間、お子さんが安心して過ごせるよう、保育を実施いたします。保育園利用のきょうだいの場合、送迎先はこのステーション 1 か所で済み、統廃合による保護者の負担が少なくなるよう、送迎のタイムスケジュールやコース等具体的なことは今後、検討してまいります。上のお子さんが保育園だけでなく、幼</p>

発言者	発言内容
	<p>稚園利用の場合もありますので、今後含めて検討してまいりたいと考えています。6ページからの岩倉市の例をご覧になっていただくと、送迎ステーションのイメージが付きやすいかと思えますので、こちらも後ほどご覧になっていただきたいと思えます。</p> <p>なお、実際にバスの運行を実施しているある保育園の例では、1台で朝2便、帰り2便運行、大貫から、飯野地区、君津教習所付近、大和田方面、青堀方面を回って保育園へ、おおよそ1時間程度かかっているとのことでした。</p> <p>また、鋸南町でも子供を乗せたバスがあるのではという情報がありましたので確認いたしました。鋸南町のバスは教育施設の再編により、幼稚園、小学校、中学校が各1施設となったので、バスを運行しているとのことでした。保育所も1施設に集約したようですが、バスの利用はなく、保護者自らが送迎しているとのことでした。町内おおよそ30分程度の距離感、バス同乗のニーズは今のところないということで、バス4台で幼稚園・小学校・中学校それぞれの登園、通学時間に合わせた運用をしているとのことでした。</p> <p>続いて、本日討論していただく、天羽地区のたたき台についてご説明いたします。</p> <p>まずは、富津市公立保育所再配置計画たたき台の3ページをお開きください。再配置を検討するにあたって、柱となっている考え方を改めて確認させていただきます。</p> <p>1点目は、子どもたちの発達に適したよりよい環境を確保するため、さらに保育の需給バランスの均衡を図るため、公立保育所の統廃合も視野に入れ、発達に適した集団の確保を進めていくこととしています。</p> <p>2点目は、このまま児童数が減少の傾向のまま進み、何も策を講じなければ、公立も私立も児童数が減っていき、共倒</p>

発言者	発言内容
	<p>れとなることも想定されます。こうした事態を回避するために、民間の力を積極的に活用し、公立保育所の再配置を進めていくこととし、民間ができることは民間にお願いし、さらなるサービスの拡充や機能強化を検討いたします。一方で、民間事業者の参入が難しい地域やサービスの提供は、行政の責任でその機能を果たします。</p> <p>具体的には、3歳以上児の保育と3歳未満児の保育に分け、3歳以上児はバス等を使い集まっていただくことで保育の質を確保し、一方の3歳未満児はバス等での移動が困難なことから、地域における保育の場を公立の小規模保育所として存続させます。</p> <p>3点目では、公立保育所、私立保育園、認定こども園、さらには幼稚園も含め、それぞれが役割を果たしながら、市全体の子どもの育ちの現状に応じた教育・保育の実現を目指すこととします。</p> <p>続いて、6ページ③天羽地区の説明に移ります。</p> <p>天羽地区の公立保育所では児童数の減少により、集団保育が困難となっており、就学に向け、保育の質を確保することが困難となっています。</p> <p>このため、中央保育所は、民間移管検討の再開、竹岡・金谷・峰上の3施設は、3歳未満児と3歳以上児を分けます。3歳未満児はそれぞれの地元において、公立保育所として小規模保育所を設置し、3歳以上児には集まっていただき、年齢や発達にあった体験を獲得するための集団を提供したいと考えております。その過程で、施設の移管を含め、民間事業者の力を活用していきたいと考えております。</p> <p>市の再配置のベースの考え方とそれに基づく天羽地区のたたき台についてご説明させていただきました。</p> <p>この後、グループ討議をしていただきますが、市の考えの</p>

発言者	発言内容
	<p>是非のほか、集団保育実現に向けた別の手法やアイデア、提案などを出していただき、議論していただければと思います。以上で説明を終わらせていただきます。</p>
諸岡会長	<p>事務局の説明が終わりました。説明に対するご質疑はございませんか。</p>
都倉委員	<p>天羽地区の現在の公立保育所については、基本的に3歳以上児と3歳未満児に分けて、3歳以上児は移管統合後の中央保育所へ、3歳未満児は現在保育所のある場所で小規模保育所として保育をされるということですが、金谷保育所については、現在の施設が場所的にも危険なところにあるということが示されています。</p> <p>隣の竹岡保育所は、現在の保育所を送迎ステーションと兼ねて使うと思いますが、金谷保育所の3歳未満児はどちらで保育を実施されるのでしょうか。金谷地区に新たに3歳未満児の保育施設を設けるという考えがあるのか、そこは新たに作る予定はないのか、そういったところをお尋ねしたいと思います。</p>
事務局（中山課長）	<p>金谷保育所のある立地は、高潮や洪水による浸水が想定されるエリアになります。また、施設が老朽化しており、2年前の台風でもかなりの被害を受けました。同じ場所で保育を続けるということは困難な話ではございますので、近くにありますが公共施設の活用をまずは第一として考えております。まだどこにということは決定しておりませんが、市としても有効利用を図っていきたいと考えております。</p>
諸岡会長	<p>他に質疑等はございませんか。</p>

発言者	発言内容
各委員	(質疑等なし)
諸岡会長	<p>それでは、これよりグループ討議に移りたいと思いますので、活発な議論をお願いします。</p>
事務局 (荒木主任主事)	<p>事務局よりご案内いたします。</p> <p>本日は、天羽地区について1時間程度、グループ討議を行っていただきます。2時50分になりましたら声をかけさせていただきますので、それまでの間、グループ討議をお願いいたします。討議の途中で、疑問や確認したいことが生じた場合は事務局にお尋ねください。グループ討議終了後、それぞれのグループで出た意見等を会議全体で共有するために、議論した内容をグループごとに報告していただきます。各グループに討議で出た意見や質疑をとりまとめるためのワークシートを1枚ずつお配りしております。このワークシートは会議終了後、事務局へご提出をお願いいたします。</p> <p>なお、本日グループ討議で出された意見や質疑等については事務局でとりまとめ、次回の会議で市の考えとともに報告させていただきます。それではグループ討議を開始してください。</p> <p><グループごとに討議></p> <p>(1時間経過後)</p>
事務局 (荒木主任主事)	<p>1時間が経過しましたので、ここで会議を一時中断し、5分ほど休憩をとりたいと思います。3時ちょうどから再開しますので、それまでに席にお戻りください。よろしく願いいたします。</p>

発言者	発言内容
<p data-bbox="215 389 347 423">諸岡会長</p> <p data-bbox="215 696 475 797">(Aグループ代表) 古川委員</p>	<p data-bbox="533 264 724 297">(5分間休憩)</p> <p data-bbox="513 389 1406 611">皆さんお揃いのようなので、休憩前に引き続き、会議を再開いたします。先ほど討議していただいた内容をグループごとに報告していただきます。それでは、Aグループから報告をお願いします。</p> <p data-bbox="513 696 1406 857">まず、金谷保育所ですが、木造園舎の老朽化、令和元年度に発生した台風による施設被害が甚大である現状を踏まえますと、小規模保育所の設置は早急に取り組むべきである。</p> <p data-bbox="513 887 1406 1167">小規模保育事業A型の保育士配置基準に対し、保育士の数を確保する等ございますけれども、計画通りに再配置した場合に、現在の公立保育所の保育士の人数で運用は可能なのか。不可能ならば、新たな保育士確保に向けて対策が必要ではないか。</p> <p data-bbox="513 1196 1406 1417">送迎ステーションから中央保育園までの間はバスで送迎するとの提案ですけれども、バスの送迎は民間委託なのか。あるいは、バスの台数であるとかルートについては具体的なシミュレーションができていますかどうか。</p> <p data-bbox="513 1447 1406 1668">3歳以上児を集約した場合、3歳未満児は公立小規模保育所という形態は従来の保育所0歳から5歳児までの異年齢と関わる機会が無くなってしまうので、保育所の幼稚園化にならないか。</p> <p data-bbox="513 1697 1406 1789">この公立保育所の再配置については、地元住民に説明を行っているのか。</p> <p data-bbox="513 1818 1406 1910">3歳以上児を集約する中央保育所や他の小規模保育所の開所時間はどうなるのか。</p> <p data-bbox="513 1939 1406 2031">小規模保育所が送迎ステーションとして機能する時間帯においては、小規模保育事業A型で示されている保育所の配置</p>

発言者	発言内容
	<p>基準プラス1名の保育士で対応できるのか。</p> <p>以上、7点の意見等が出ました。</p>
諸岡会長	<p>ありがとうございました。Aグループからの討議の結果が報告されました。報告に対するご質疑がありましたらお願いします。</p>
各委員	<p>(質疑等なし)</p>
諸岡会長	<p>それでは、Bグループの報告者の方をお願いします。</p>
(Bグループ代表) 保坂委員	<p>天羽地区の統廃合の状況としては、子どもの人数や地域的に考えると仕方ないかなという感じの意見がありました。</p> <p>中央保育所を民間化とありますが、民間とした場合、天羽地区に2つの民間保育施設ができるのでそれがよいのかどうか。また、公立とした場合、3歳未満児のときから継続して最長6年間公立でみていくことの良さがあるのではないかと。でも、民間だとやはり特色があってそれもいいことがあるのではないのかなということで、中央保育所の民間か公立かとの意見がよく出ました。</p> <p>保護者の立場で考えたとき、子育てしていくうえで金谷などの特に3歳未満児を預かる小規模保育所はあった方がよい。働いている方は、子供を安心して預けることができる環境が大事になってくるゆえ、地区に保育所が無くなってしまうと、段々と子育てするような方たちがそこに住むという考えを持たなくなってしまうのではないかと。そういった意味でも、小規模保育所は大事にしてほしいという意見がありました。</p> <p>話は戻りますが、中央保育所を民間でとのことですが、施</p>

発言者	発言内容
	<p>設が老朽化されているということで、民間になるときに施設は大丈夫なのかなという話も出ました。</p> <p>民間にしても、公立にしても、とにかく富津市の大事な子どもたちとして分け隔てなく、市の方で考えていていただきたいという話も出ました。</p> <p>最後に、天羽地区の活性化、その中で保育・教育をしていけたらいいなという考えが出ました。以上です。</p>
諸岡会長	<p>ありがとうございました。Bグループからの討議の結果が報告されました。報告に対するご質疑等ありませんか。</p>
各委員	<p>(質疑等なし)</p>
諸岡会長	<p>それでは、Cグループの報告者の方お願いします。</p>
(Cグループ代表) 都倉委員	<p>金谷保育所について、先ほどAグループからも話がありましたけれども、施設の老朽化に加えて危険度の高さ、そういったことを考えますと、まず一番始めにこちらに手をかけるべきではないかという話が出ました。そういった中で、色々な考え方があると思いますけれども、それをまずやるべきだという話です。</p> <p>湊のこども園との連携等により、3歳以上児の人数の調整ができれば、中央保育所の改修を行うときに施設の規模を抑えて小規模でできる可能性もあるので、そういったところを注視しながら進めていただきたいという話がありました。</p> <p>送迎ステーションから中央保育所までの間をバスが動くということですがけれども、バスは何台稼働するのか。あるいは利用料金についてはどのくらい負担がかかるのか。実際にやっているところの料金をみると利用料は3千円程度。基本的</p>

発言者	発言内容
	<p>には、保護者の負担というよりは市の負担でやっていただきたい。3千円を超える負担は保護者としてきついという意見がありました。</p> <p>児童数の減少によって、基本的には小規模保育事業（定員6～19人）でいくという説明を受けましたけれども、こういった子どもの数が減少傾向にある中で、ここを第一に考えるのは当然かもしれませんが、家庭的保育事業（定員1～5人）についても検討した方がよいのではないかという意見が出ました。</p> <p>特色ある保育施設を目指したらどうか。そういったところで、子どもが育ってきてくれればいいのではないかというような話もありました。以上です。</p>
諸岡会長	<p>ありがとうございました。Cグループから討議の結果が報告されました。報告に対するご質疑はありますでしょうか。</p>
各委員	<p>（質疑等なし）</p>
諸岡会長	<p>それでは、これより全体会議とします。これまでの報告のほか、全体的なことや前回の会議等振り返ったときになにかありましたら、質疑等をお願いしたいと思います。</p>
各委員	<p>（質疑等なし）</p>
諸岡会長	<p>それでは、議題（2）「その他」に入ります。委員の皆様からなにかありますでしょうか。本日、これまでの内容で確認したいことなどがありましたら挙手をお願いします。</p>
各委員	<p>（質疑等なし）</p>

発言者	発言内容
諸岡会長	<p>よろしいでしょうか。ないようでしたら、事務局からその他としてなにかありましたらお願いします。</p>
事務局 (水島係長)	<p>それでは、次回の会議についてご連絡いたします。</p> <p>次回の会議は、9月17日を予定しております。本日と同様に、3グループに分かれて全体討議を行っていただきます。</p> <p>これまでの地区別にいただいたご意見や市の考えを踏まえて、全体としてご意見を伺いたいと考えております。</p> <p>会議の開催については、後日改めて開催通知を郵送させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>最後に、事前に送付いたしました「たたき台に対する意見書」は会議終了後にご提出をお願いいたします。</p> <p>なお、本日の議題に関することや前回討議いただいた富津地区、大佐和地区の再配置に関する事など、今後も随時意見はお寄せいただきたいと考えております。本日、改めてお手元に意見書の用紙をお配りしましたので、そちらをお使いいただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
諸岡会長	<p><次第5 閉会></p> <p>それでは、以上をもちまして、令和3年度第2回富津市子ども・子育て会議を閉会といたします。</p> <p>委員の皆様には、長時間にわたりましてありがとうございました。おつかれさまでした。</p>